可児市の温室効果ガス総排出量の公表

2020（令和２）年度の可児市における温室効果ガスの排出量は、783,698t-CO_2 となり、前年度から 5.5%の削減、可児市地球温暖化対策実行計画の基準年度である 2013（平成 25）年度（937,538t-CO_2）から 16.4%の削減となりました。

主要４部門（産業・家庭・業務・運輸）のうち、前年度比増減５％以上変動があった部門は、業務部門（13.3%減）、運輸部門（9.7%減）、家庭部門（8.8%減）です。業務部門減少の要因としては LP ガスや電力消費量の減少、運輸部門減少の要因としては旅客用の車のガソリンや軽油等消費量の減少、家庭部門減少の原因としては灯油と電力消費量の減少が考えられます。

○温室効果ガス排出量の推移

	2013 年度（基準年度）	2019 年度（前年度）	2020 年度（最新公表年度）	2030 年度（中期目標）	2050 年度（長期目標）
温室効果ガス排出量（t-CO2）	937,538	829,170	783,698	506,000	0
2013 年度比増加率	-	-11.6%	-16.4%	-46.0%	-100%
前年度比増加率	-	-2.1%	-5.5%	-	-

○部門別排出量

	産業	家庭	業務	運輸	廃棄物	農業	合計
2019 年度	434,686	108,411	104,484	158,668	21,336	1,584	829,170
2020 年度	428,254	98,832	90,587	143,293	21,165	1,568	783,698
前年度比増加率	-1.5%	-8.8%	-13.3%	-9.7%	-0.8%	-1.0%	-5.5%

（t-CO_2）

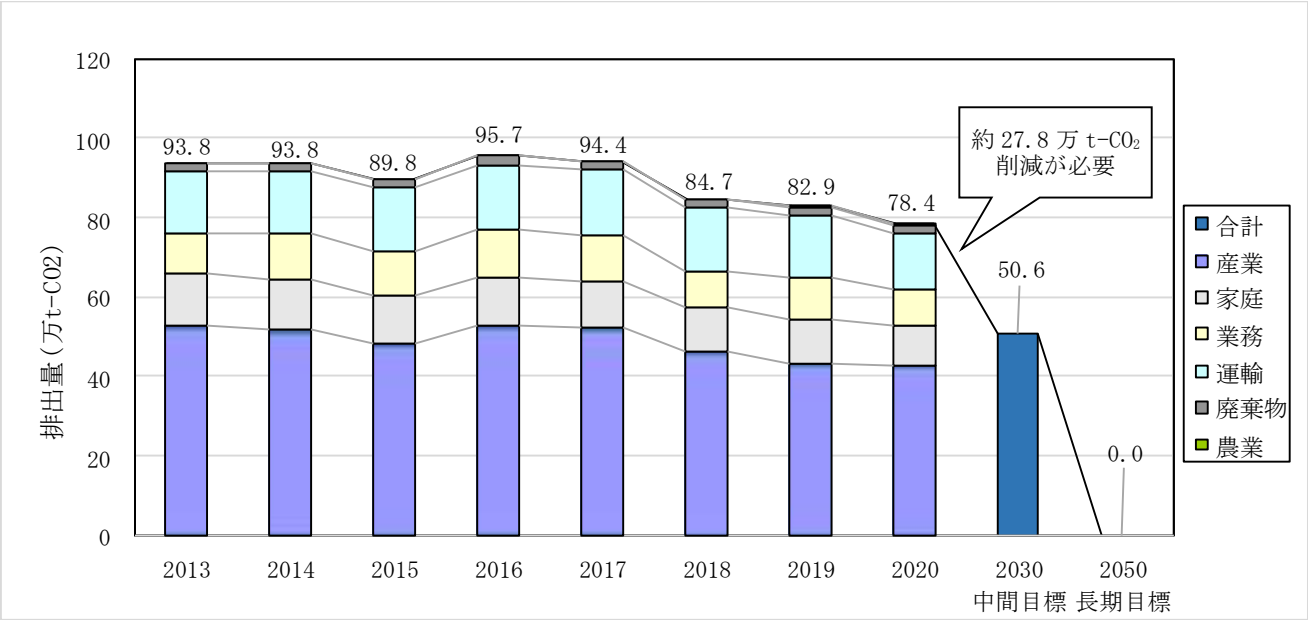

図　年度別部門別温室効果ガス排出量

普段の生活を見直し、自身ができる省エネ対策を見つけて、温室効果ガスを削減しよう！